

令和2年度 看護部教育計画

教育目的:1. 専門職業人として最善のケアを提供するため、知識・技術・態度の習得と資質向上を支援する
2. 変化する社会のニーズに対応できる看護職を育成する

教育目標 1)看護に対する責任と能力を認識し、自律した看護職の育成を目指す
2)個々の看護実践能力の向上に努め、質の高い看護を提供する看護を提供する専門職業人を育成する
3)組織人として必要な、豊かな人間性・感性と倫理性を養う
4)自己研鑽に努め、自己実現を達成するためのキャリア開発を行なう
5)看護職に必要なリーダーシップとマネジメント能力を養う

区分	コース	到達目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月
ラダー 研修	ラダー Ⅰa研修	1. 病院の理念・看護部の理念を理解し、組織の一員として助言を受けて行動できる。 2. 基本的な知識・技術を習得し、マニュアルに沿い助言を受けて安全に看護ができる。		1・2・3・6 10・20・ 23	12・14	15・17	2・22		10・24	1	13		28	
	ラダー Ⅰb研修	1. 医療チームにおけるメンバーの役割を理解し、助言を受けて協働できる。 2. 自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる。		14	25	24	20		30	5～16 (OP・ ICU)		8	22か 29	
	ラダー Ⅱ研修	1. 自己目標を部署目標に連動させ、目標達成に取り組める。 2. 部署の特殊性を理解し、基準となる業務を行うことができる。 3. チームリーダーの業務を理解し、協力を得ながら遂行できる。 4. 自己の課題を認識し、自主的に学習できる。		14		8	14		3			10	8	
	ラダー Ⅲa研修	1.部署目標の達成に向けてチーム目標を連動させ、自己の目標達成に取り組む。 2.専門的な知識・技術を活用し、効果的かつ効率的な看護を提供できる。		13		16	20		4	19	6		15	
	ラダー Ⅲb研修	1.看護チームリーダーの役割を果たし、チーム内で発生した問題を指摘できる。 2.自己のキャリアを展望し専門領域の学習に取り組める。		13	8 研究 計画書 29		10	6			研究 抄録 26	18		
	ラダー Ⅳ研修	1.病院組織における看護部の位置づけを理解し、部署目標達成に向けた積極的な関わりができる。 2.専門知識・技術を活用し、看護を提供することができる。 3.専門分野に関しての知識を深め、スタッフを指導できる。		13		8・26	27		18	6	16	11		
	新採 指導者 研修	1. 新人看護師が職場に適応するための、基本的な看護技術の指導と精神的支援の方法を学ぶ。 2. 新人看護師教育計画に沿って、部署における新人看護師の個別プログラムの立案・実施及び評価方法を身につける。		6					24					15
専門 分野 研修	ベーシッ ク コース	フィジカルアセスメント	1. 科学的根拠に基づく基本的スキルを習得し、「役割モデル」として看護を実践できる。		21	11		25						
		感染管理				5		7	11					
		緩和ケア			18	29		28						
		化学療法				1		31	30					
		摂食・嚥下			29	24		24						
		皮膚・排泄ケア			27		6		3					
		災害看護				25		21	10					
		高齢者看護			14			17	4					
		救急看護				2	9		1					
		全体 研修		看護 研究	1. 看護研究プロセスを解明し、意欲的に取り組むことができる。 2. 看護研究のレベルアップ・看護の質の向上を図ることができる。			部署研究 計画書 22					部署研究 抄録 23	部署研究 発表会 20・25
院外 学会 発表	1. 主体的にテーマを持ち、多様化するニーズに対応できる能力を養う。									26				
長期 派遣 報告会	1. 主体的にテーマを持ち、多様化するニーズに対応できる能力を養う。				19									
看護 補助者 研修	1. 看護補助業務を安全に遂行できるよう知識・技術の普及に努める。 2.研修を通しモチベーションアップにつなげ、自信を持って看護補助者業務が行える。		17			3			2		4			

令和2年4月1日 鶴岡市立荘内病院 看護部教育委員会

管理 研修	主幹	1. 管理職としての職務を遂行し組織の強化を図る為の能力を啓発する。 2. 権限の委譲を適切に行い、主査・係長・主任への管理参画の指導ができる。 3. 看護研究(管理実践)活動を活かした看護管理ができる。			計画 書 提出 5/29		
	主査	1. 中間管理職としての職務を遂行し組織の強化を図る為の能力を啓発する。 2. 権限の委譲を適切に行い、係長・主任への管理参画の指導ができる。 3. 看護研究(管理実践)活動を活かした看護管理ができる。					
	係長	1. 主査補佐としての役割を果たし、与えられた権限の中で部署を管理するための能力を啓発する。 2. 現場で発生する看護問題に対して研究的に取り組み、看護の質の向上と充実を図る。					
	主任	1. 主査・係長の補佐としての自覚を持ち、役割達成する為の能力を啓発する。 2. 現場で発生する看護問題に対して研究的に取り組み、看護の質の向上と充実を図る。					

令和2年4月1日 鶴岡市立荘内病院 看護部室